

3月12日（木曜日）午前9時30分開議

議事日程（第2日）

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 議案第1号 北方町課設置条例の一部を改正する条例制定について（町長提出）
- 第3 議案第2号 北方町特定教育・保育施設等の利用者負担に関する条例制定について（町長提出）
- 第4 議案第3号 北方町ホテル保護に関する条例制定について（町長提出）
- 第5 議案第4号 平成26年度北方町一般会計補正予算（第5号）を定めるについて（町長提出）
- 第6 議案第5号 平成26年度北方町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を定めるについて（町長提出）
- 第7 議案第6号 平成27年度北方町一般会計予算を定めるについて（町長提出）
- 第8 議案第7号 平成27年度北方町国民健康保険特別会計予算を定めるについて（町長提出）
- 第9 議案第8号 平成27年度北方町後期高齢者医療特別会計予算を定めるについて（町長提出）
- 第10 議案第9号 平成27年度北方町下水道事業特別会計予算を定めるについて（町長提出）
- 第11 議案第10号 平成27年度北方町上水道事業会計予算を定めるについて（町長提出）
- 第12 議案第11号 北方町地域福祉計画・地域福祉活動計画を定めるについて（町長提出）
- 第13 議案第12号 北方町老人福祉計画を定めるについて（町長提出）

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第13まで

出席議員（10名）

1番	杉本真由美	2番	安藤哲雄
3番	安藤巖	4番	鈴木浩之
5番	安藤浩孝	6番	伊藤経雄
7番	立川良一	8番	戸部哲哉
9番	井野勝巳	10番	日比玲子

欠席議員（なし）

説明のため出席した者の職氏名

町長	室戸英夫	副町長	野崎眞司
教育長	西原朗	総務課長	林賢二

都市環境農政課 技術調整監	窪 田 吉 泰	福祉健康課長	加 藤 章 司
税 務 課 長	渡 辺 雅 尚	上下水道課長	川 瀬 豊
住民保険課長	山 田 潤	収 納 課 長	白 井 誠
教 育 課 長	有 里 弘 幸	都市環境農政課長	奥 村 英 人
会 計 室 長	松 井 敦	庁舎建設・ 防災担当課長	後 藤 博

職務のため出席した事務局職員の氏名

議会事務局長	安 藤 ひとみ	議 会 書 記	恩 田 直 紀
議 会 書 記	平 川 悟		

○議長（立川良一君） おはようございます。

昨日3月11日は、ちょうど4年前に東日本大震災の本当に大きな衝撃が与えられましたけれども、今、4年たっても、まだまだ痛ましい現場の姿を昨日いろいろ見聞きいたしまして、本当に身が引き締まる思いがいたしました。

それでは、ただいまから平成27年第2回北方町定例議会第2日の会議を開きます。

ただいまの出席議員数は10名で、定足数に達しておりますので、議会は成立いたしました。

本日の日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（立川良一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において6番 伊藤経雄君及び8番 戸部哲哉君を指名します。

これから質疑を行います。所属する委員会に付託が予定をされる案件につきましては、極力質疑を控えていただき、委員会における審査をお願いいたします。

日程第2 議案第1号

○議長（立川良一君） 日程第2、議案第1号 北方町課設置条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 収納課がなくなったり、納税課というものがなくなったりするわけですが、その収納課の仕事は、かつて税務課であるとか健康福祉課ですか、そういうところでお仕事をしてみえたんですけど、収納課の仕事がそういうところに行ってしまうのかどうかということをお尋ねしたいと思います。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） 条例の中を見ていただけますように、収納課の仕事につきましては、税務課と一体となって税務収納というふうで、賦課部門と徴収部門を一体化させて行いたいと思っております。

なお、国民健康保険の賦課については、今の現課であります住民保険課のほうで行いまして、徴収部門につきましては、この税務課の中で行っていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（立川良一君） それでは、これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第1号については、総務教育常任委員会に付託をしたいと思います。

思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第1号は総務教育常任委員会に付託することに決定いたしました。

日程第3 議案第2号

○議長（立川良一君） 日程第3、議案第2号 北方町特定教育・保育施設等の利用者負担に関する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第2号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第2号は厚生都市常任委員会に付託することに決定しました。

日程第4 議案第3号

○議長（立川良一君） 日程第4、議案第3号 北方町ホテル保護に関する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第3号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第3号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第5 議案第4号

○議長（立川良一君） 日程第5、議案第4号 平成26年度北方町一般会計補正予算（第5号）を定めるについてを議題とします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第4号については、各常任委員会の関係部門をそれぞれ所管の常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第4号は各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第6 議案第5号

○議長（立川良一君） 日程第6、議案第5号 平成26年度北方町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第5号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第5号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第7 議案第6号

○議長（立川良一君） 日程第7、議案第6号 平成27年度北方町一般会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案理由の説明が終わっておりますので、これからページを分けて質疑を行います。

予算の調製から歳入の33ページまでの質疑を行います。質疑のときは、ページ数を言っていただきたいと思います。

日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 19ページですけど、歳入の国の負担の社会保障・税番号制度中間サーバーシステム補助金は10分の10出るんですけども、そのマイナンバーについて、まずどういうものであるかということで、新聞などではもう先走って報道がされていますので、わかっている範囲でお答え願いたいと思います。

○議長（立川良一君） 山田住民保険課長。

○住民保険課長（山田 潤君） 社会保障・税番号制度の概要につきましては、従来からある住民票コードをもとにしまして、個人個人に新たに番号を振って、社会保障制度、それから所得制度の利用に使うということで、まず個人に番号が付番をされます。その後、身分証明書機能を有する個人番号カードという交付も始まりますので、希望者の方にはそのカードを交付することになります。

それで、その後、29年の1月以降に国との情報連携ということが始まりまして、29年7月以降には地方公共団体との情報連携も始まるというふうに聞いております。

○議長（立川良一君） 歳入については、以上で質疑を終わりたいと思います。

〔「議長」の声あり〕

○議長（立川良一君） 井野勝巳君。

○9番（井野勝巳君） 3ページですけれども、これを見ますと歳入のほうですけれども、国庫支出金のほうはかなり伸びがあるんですけれども、歳出のほうで繰り入れに7億7,000万、そして町債を13億2,770万出しておりますけれども、今度新庁舎を建てる上でいたし方のない歳出になるかと思っておりますけれども、この中で、要は公債費比率なんかがどういうふうな形になっているか、経常収支と公債費比率をちょっと教えていただけますか。

〔「議長、休憩」の声あり〕

○議長（立川良一君） 休憩します。

休憩 午前9時39分

再開 午前9時47分

○議長（立川良一君） では、再開をいたします。

林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） それでは、今の質問にお答えをしたいと思います。今現在の詳細なところの計算というか、将来見込みについては、そのときそのときで若干数字が変わってまいりますので、今の暫定数値ということで御理解をいただきたいと思っております。

まず、経常収支比率については、平成25年度の確定値は86.7%でございますけれども、これから借り入れをし、3年後から返済が始まるという、ピークとしては平成30年ごろをめぐりに約90%前後になるのではないかなというふうに考えております。

それから、実質公債費比率でございます。

こちらについては、平成25年度が10.7でございますが、こちらにつきましても、これから先3年後から償還が始まりますので、そこを思いますと平成30年ごろがピークとなり、13から15ぐらいのところに来るのではないかなというふうに今は想定をしておりますので、よろしく願いをいたします。以上でございます。

○議長（立川良一君） 井野勝巳君。

○9番（井野勝巳君） やはり、こういったデータが出るかなと思って心配をしておりました。どっちにしても、町長さんのほうもできるだけこういったことを抑えるという新年度予算を組み立てておられますので、このあたりに留意をしていかと対象の団体に陥ってしまってもいかなので、心配をしてお聞きをしております。

やっぱり公債費比率なんか、かなり上へパーセントが上がっていってしまうということで心配は心配でありますけれども、健全財政で進めていかなきゃならんかなというふうに考えておりま

す。終わります。

○議長（立川良一君） 他にありませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） それでは、歳入については以上で質疑を終わりたいと思います。

歳出についても、ページを分けて質疑を行います。

議会費の34ページから労働費の75ページまでと、農林水産業の75ページから地方債の調書の117ページまでに分けて行います。

それでは、議会費の34ページから労働費の75ページまでの質疑を行います。

日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 77ページの負担金……。

75ページまで、ごめんなさい、間違えました。

○議長（立川良一君） 安藤浩孝君。

○5番（安藤浩孝君） それでは、38ページの上から3つ目、13番の委託料ということになっていますが、99万3,000円計上されていますが、今年度、たしか私の記憶ですとホームページを一新されて、大変読みやすく、わかりやすく、情報が広く厚く載るようになって、聞く人に、よくなったねと。今までちょっと敷居が高かったのが、大変身近なホームページになったねという声もよく聞いてきたわけでありまして、平成25年度はたしか60万9,000円、平成26年度が62万6,000円、昨年からことしにかけて1万7,000円アップしておるんですが、これはたしか消費税の関係だったと思うんですが、今回62万6,000円から99万3,000円、100万近い金額ということで、37万円ぐらい委託料が上がってくるんですが、去年これだけの大幅な一新、大変見やすいホームページに変わったのにかかわらずほとんどアップがなかったんですが、今回結構な金額に上がってくるんですが、このあたり次のホームページでどういうふうに反映されるのか、具体的にここをこういうふうにするよというようなことがあれば、ちょっとお聞きしたいなと思って質問します。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） ホームページでございますけれども、昨年度リニューアルをさせていただいて、確かに今言われるように、我々も大変見やすくなったのではないかなというふうに思っておるわけでございますけれども、そのホームページを作成するに当たりまして、本来ですとホームページの作成は業者へ委託をして、お金をそこで支払うということをしてございましたけれども、実は今回大学との共同研究ということで、岐阜経済大学と共同でホームページの作成というのをベンチャー企業を含めて作成を行ったということで、更新の費用のみで最終的にリニューアルができたということで、大学の御協力があって、安い費用でまず昨年4月には更新をさせていただいたというのが実情でございます。

それで、そういう中で、見ていただくとわかりますように、表紙のページを見ていただくと、今まで新しい話題というのがなかなか表紙に来ていなかったというところもでございますけれども、今年度、もうかなり旬な話題とか、今の新しい行事の写真なんかをできるだけ添付して、できる

だけインターネット上の北方町の玄関口を旬な話題で皆さんに親しみやすいようにしようというふうに考えてまいりましたけれども、そういうものをさらに来年度については、やはりもっと旬な話題なんかもちっと随時更新をするということも含めて頑張っ情報発信をしていきたいというふうに考えておりますので、そういう費用を含めて今回費用を上げさせていただいておりますので、御理解をお願いしたいと思ひます。

○議長（立川良一君） 安藤浩孝君。

○5番（安藤浩孝君） 本当に大変見やすいホームページになったと思ひますが、先ほども議長のほうからも冒頭でお話がありましたけど、昨日、東日本大震災ということ、4年たつて改めて自然災害の被害、防災をしっかりとやっていかないかんということ、を改めて感じたわけですが、先日、政策の中で、庁舎の建設の中で雨量計の話がちらつと出てきましたが、一昨年もこちらの地区、大変ゲリラ豪雨ということ、100ミリ近い雨が降つておりましたが、北方町には雨量計がないということ、一番近いところがでは県がやっています糸貫のデータしかなかったので大変ありがたく思ひわけですが、そういった雨量計というものも随時リアルタイムで、こういったホームページに掲載できるのかなということ、を思ひています。岐阜市を初めいろんなところで、今リアルタイムでこういったものも掲示をしております。これは防災の意識を高める上でも、ぜひ必要だと思ひて思ひますが、そういった考えをぜひお聞きしたい。

それからもう1点、きのうもちょっとホームページの災害情報をクリックしましたら、実は昨年、の台風の情報がまだ出ておりました。これは、あえて削除されないのか、それともうっかりしておったかわかりませんが、台風情報の暴風警報がまだ10月だったかな、それが出ておりましたが、その辺はどういうお考えであるのか、今後こういった過去の記録的なものを乗せるアーカイブ的なものがつくられればいいんだと思ひんですけど、クリックするとこれは出てくるんですね、この辺の考えをちょっと2点お聞きします。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） 防災関係でありますけれども、ホームページの関係でありますので私のほうからということ、でありますけれども、まず雨量計のお話、ちょっと初めてホームページ上に載せたらどうかという話を聞きましたので、我々内部でそこまでの検討をしておりますので、活用できるものであれば、そういうところに載せられるのであれば、ぜひ載せていきたいなというふうには考えております。

それから、防災の暴風とか、そういう警報とかがホームページのどこかに残つておるといふお話でしたね。先ほどのことしのリニューアルから見ていただけますように、町のホームページにも北方町に暴風警報が出たときには災害警報ということ、画面の一番上に暴風警報が北方町で出ていますよという表示をさせていただくようになりました。それが残つておるといふのはちょっと我々もわかつていない部分でありましたので、もう一度ちょっと中身を調べさせていただいて、必要でないものであれば当然早急に消させてもらいますので、よろしくお願ひします。以上です。

○議長（立川良一君） 続いて、農林水産業費の75ページから地方債の調書の117ページまでの質疑を行います。

日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 86ページの役務費のところ、初めて新しく出てきたので各種傷害保険料ということで、わずか金額は2万1,000円なんですけれども、きょうの新聞でも松阪の小学校の先生が子供に背中なんかを悪いことをして大変な状況になったということが新聞に載っていましたけれども、そういうことも含めて学校の先生、子供たちに傷害が起きたときにどういうふうにするのか。警察へすぐ通報してしまうとかあるんですけれども、本当に学校の教育の現場というのは変わっちゃって、私たちのころと、この間定年になった先生の話が載っていたんですけれども、勉強以外の研修であるとか、会議とか、それから提出書類が非常に多くて、子供たちと本当に接する機会が少ないということでもありますので、ちょっと悪いことをしたらこういう子供たち、この間、遼太君は亡くなっちゃったんだけど、そういうことも含めて、なぜこういう傷害の保険料をつくられたのか、その辺のお話を承りたいと思います。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） こちらのほうの各種傷害保険料ですが、私ども家庭塾とか、そして土曜北方塾で、例えば、特に家庭塾のほうなんですけど、町外のほうに日帰りの研修をすることがあるんです。そのときのために、ちょっと町外のほうに出て行って、けがをされるといけませんので、それで一応この傷害保険料2万1,000円のほうの予算化をさせていただきました。

○議長（立川良一君） 日比玲子君。

○10番（日比玲子君） そうしたら、その件については、中ではなくて外に行ったときの研修なんかでやるということですね。

そして、次はアスベストのことですけど、毎年アスベストの業務の委託料が載っているんですけど、なぜ毎年委託をして、結果わかると思うんですけど、どうですかね。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） このアスベストの分析というのは、私どものほうの公民館の大ホールのほうのアスベストの調査をしているんです。アスベストは、御存じのとおり大変有害なものですので、それが当然毎年毎年どんな変化をしているかということで、その数値を見ながら私どものほうも対応したいと思いますので、毎年予算化をさせていただいております。

○議長（立川良一君） 日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 予算化しているのに対して、自分たちで少しはそういう結果を見てどういうふうにするかということなんですけど、実際はやれていないんじゃないですか。毎年上がってきておる、この予算が。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 今、議員さんがおっしゃった、やれていないという意味がちょっとよくわからないんですが、毎年調査はかけております。その数値もいただいておりますので。

○議長（立川良一君） 日比玲子君。

○10番（日比玲子君） もう1つ、ちょっと意味がわからないんですけど、88ページですが、フロンガスの点検と、それから浮遊粉じんの気流検査を初めて北方の中学校と、それから3つの小学校と幼稚園とやられるわけですけど、これは法律が変わったんですか。新しい法律なのかどうかちょっと聞きたいと思います。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） こちらのほうの検査は、エアコンを設置することによって、どうしてもやっぱり換気をしないという部分がありますので、その辺の教室内の空気等の調査をさせていただくんです。これは新しく法律ができたということではなくて、以前から学校のほうの調査項目には上がっていましたが、私どもはエアコンはつけていませんでしたので、外しておりました。エアコンが今回中学校につきましたので、今後3年計画で全ての学校につきますので、それで今回予算化をさせていただいております。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） 85ページの教育委員会費の報酬で69万6,000円ほど、4人の方に支払われておられるんですけども、これはここで聞きしたいのかわかりませんが、この教育委員という先生は、例えば、学校の評議員と兼ねてやっていいんですか。そういう方にも報酬を払っておみえになるんですけども、その点は担当者どなたか回答をお願いします。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 伊藤議員さんのおっしゃる今回の木野村委員さんが学校の評議員さんも兼ねてみえるということなんですけれども、私ども兼ねてはいけないというものの条例、法律等を見ていませんので、一応今回そういう形にさせていただいております。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） それはよしとして認めても、これもちょっとここで聞いてわかりませんが、去年、平成26年9月19日に任命同意をされたの、町長提案からね。そのとき木野村ともみさんと今言われました方、この方の本当の本名は平仮名の「ともみ」でいいんですか、これは。いろんな資料を見ると、漢字で書いてあるのが正しいんじゃないですか。こういう公の同意について、こういう平仮名の通称というか、俗称というか、こういうふうでよろしいんですか。

○議長（立川良一君） 休憩します。

休憩 午前10時06分

再開 午前10時29分

○議長（立川良一君） それでは、再開をします。

有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 今回この木野村さんにつきましては、本人の申請に基づいて履歴書等で確認をして、平仮名ということで提案をさせていただきました。本人さんも、PTA等で活躍

をされているときに、字画の問題等で平仮名をずうっと使われていたということでありましたので、私ども今通称は本当に適法かどうかは県のほうにちょっと確認をさせていただいていますので、ちょっとそのお答えについては、またさせていただきたいと思います。

それと、先ほどの教育委員と、そして評議員ですが、学校評議員のほうはボランティアでやっ
ていただいていますので、お金の支出はありません。教育委員については月額報酬ということで
出ていますので、それも含めて済みません、お願いします。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） パスポートでも何でも本名を使うのは当たり前ですし、今の無償ボランテ
ィアと言われても、最近是有償ボランティアがあってこそ成り立っているものが多々あるんです、
いろんな行事に関してね。学校評議員は、私も昔やっておってボランティアということはわかり
ますけど、ただ学校の内容をわかった方が教育委員会に来て、どうしても学校のことをかばう、
隠す、そういうことをやられないかということも心配しておりますし、いろんなことで活躍され
る方がそういう教育委員にお入りになられることもいいですけども、これは議会だよりが全戸
配付されていますね、前回平成26年11月1日に配付された議会だより。ここにも平仮名ではつき
り書いてある。やはりこれは本名じゃなければいけないんじゃないですか。もう一回答お願いします。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 今回、先ほど答弁させていただいたとおり、本人の申請に基づいてや
らせていただいていますので、議会の中でもそういう形で提案をされました。議会だよりのほう
で平仮名の名前で載ってしまっていますので、私どものほうの提案がよかったかどうかは今、先
ほど言いましたように県のほうに確認をとっていますので、確認がとれ次第、また……。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） 確認をとってまた答弁いただけるならそれでよろしいですけど、実はこの
問題は去年の9月のあれでしたよ。そのときに、それからたびたびこの件はどうやと課長にもお
尋ねした、事務局長にもお尋ねしたことがあります。だけど、何も返事ないね。

ただ、69万6,000円のうちの4分の1がこの方にお金が行っておるわけなんですね。となると、
この質問がここでいかなるものかと先ほど議長も言われましたけど、お金が絡んでいるんですの
で、ここをまずはっきりしてください。それで1つ終わります。

もう1つ、教育委員会の中に、公のところへお勤めになってみえる方がお1人見えるけど、こ
れも本当にいかなるものかと。民間会社、あるいは個人営業、無職ならともかく、他の自治体の
公の教育委員会絡みのところにお勤めになってみえる方が教育委員としてお1人見えるわけす
ね。教育長を含めて今教育委員会は5人で、教育長とその方は教育にかかわってみえるけど、あ
との3人の方は、僕は教育委員が本当に適しているかなあと今でも疑問に思っていますが、こ
の件は別にして、そういうことも事実あるわけですけども、その件について御答弁いただけま
せんか。名前までは出せんもんで。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 議員おっしゃられる方は、多分林明夫さんの教育委員長だと思います。

今現在、本巢市の教育センターのほうにお勤めになられていて、私どもの教育委員としてやっ
ていただいているんですが、ただ、その職務のほうに影響が出るかといいますと、私どものほう
の教育委員会には毎回必ず出ていただいていますし、各行事につきましても全て出ていただい
ていますので、私どものほうの教育委員としての職務に関しては、まして法律的に問題があるか
と
いいますと、そういうこともありませんので私どもは委任をさせていただいております。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） その方が勤務中に北方町にも教育にかかわること、いろんな問題も起きて
いるのも事実なんですけど、そういう早急に対応できるか、そういうことが1つ心配しておりま
す。そのような御答弁しかいただけないなら、これで終わります。

○議長（立川良一君） 教育長。

○教育長（西原 朗君） いろいろありがとうございます。

今、教育委員の話が出ましたが、さっきの林委員長さんは非常勤でございまして、時間的な制
限で縛られているということはないんですね。それから、何にも増して議員各位に同意を得てい
ただいて、同意していただいて教育委員になっている方ですので、何ら僕は問題ないと思ってお
ります。

○議長（立川良一君） ほかにありませんか。

戸部哲哉君。

○8番（戸部哲哉君） 59ページのふれあい健康センター費ですが、前々からここは無料でお風呂
を提供しておるわけなんですけれども、やはり公共サービスという中で、無償がいいのか有償が
いいのかという話になるかと思うんですが、現実的にここを維持していくのに650万ほどかかっ
ておるわけですね。地域的に見ても、利用される方が非常に限られるという中で、常々有償にせ
よと僕は言っておるわけなんですけれども、年間1万人の利用者、これは仮に100円取っても100
万円、200万円という話にしかありませんが、基本的にいつまでこれを無償で続けていくか。

というのは、もう常に十七、八年たっております、これからいろいろの修理費、ボイラー等
も出てくるんでしょう。そういうふうにまだまだお金がかかっていく中で、基本的にこれを続け
ていくのかという問題と、将来的には有償にするのか、無償にするのか、廃止にするのか。そし
て、できるならば、ここは、今、賃金160万ぐらい使っておられますね。精読の中で、週に3日
が1人で、その間に2人が予備でやられるということの賃金になっておるそうですけれども、婦
人の家のほうも管理されておられる方が見えるので、同じ施設、建物は同じようなものですよ。
これをやっぱりうまくやれば、多少人件費のほうも節約できると思いますし、ここは清掃費50万
くらい組んでありますよね、ふれあいセンターのほうの。そうじゃなかったですか。そういう部
分も、やはりコスト削減という中で、無償か有償かという議論ももちろん当然僕はしたいんで
すけれども、まずはやはりコストの削減という部分から考えていただきたいなというふうに思っ
ておりますので、そこら辺ちょっと御答弁いただきたいと思います。

○議長（立川良一君） 加藤福祉健康課長。

○福祉健康課長（加藤章司君） まず、施設の性格としては、高齢者の方の福利厚生とか、介護予防を目的にしてふれあい健康センターのほうを運営しているところでありますが、過去の行革の委員会の中で、有料にするべきか無償にするべきかというような議論もなされておりますし、その中で、今おっしゃられるように施設がもう老朽化しております。維持管理費が今後高額になってきた折には、廃止も含めて検討するというように以前決まっていたと伺っておりますが、議員御指摘のように隣に働く婦人の家がありまして、そちらのほうにも職員がおりますので、おっしゃられるように合理化が図れるようであれば、それは総務課のほうと協議いたしまして、そのようなことを検討させていただきたいと思っております。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） 婦人の家もあわせての話でありましたので、私のほうが管理しておりますものもあわせて、それもまた行革の委員会の中でお話をしておりますように、外の施設関係、ふれあい健康センター、または働く婦人の家、勤労青少年ホーム等につきましては、今後指定管理者とか委託、そういうものへの移行ということも今検討しておりますので、御理解をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（立川良一君） 戸部哲哉君。

○8番（戸部哲哉君） ちょっと勘違いしてページを戻ってしまっておったんですけども、ごめんなさいね。婦人の家のほうから戻さないかなんだですね。

いい御答弁をいただきました。やっぱりこういう時代です。多少なりとも経費削減という中で、やっぱり住民サービスの福祉の部分で利用されている方がお見えになります。それをいきなりやめよとかいう話はちょっと唐突なんであれなんですけど、ただ言えることは、やっぱり1万人の利用があるといっても、同じ方がずうっとお見えになれば、高々その中の利用される人数はせいぜい150人か200人かという話になるろうかと思っております。そういう部分も考慮していただいて、ぜひ少ない経費の中でサービスの提供をしていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） 98ページの社会教育総務費について、ちょっと関連しますんですけど、報酬についてですけど、14万4,000円ほど計上してありますが、ちょっと私、今、議会の充て職でこの社会教育委員として出席させていただいておるんですけど、代理出席の方がお見えになって、こういう方にも報酬を払われておるのかという。ということは、北方中学校のPTA会長さんが前の会長さんがたびたびそういう会議にお見えになってみえるで、今回のPTA会長さんは本当に学校の卒業式に初めてお顔を見たというような方で、やはりそういう教育委員会にお見えになる中で、例えば、北方中学校、最近も私のほうへ来年から北中へ行かんと、岐阜市の私立の中学校へちょっと家庭的にも大変だけど、行かせますというようなことを言われる方が事実ありますんですわ。ということは、それだけ老若男女、北方中学校が荒れておるということも多少問題が

あることも知ってみえる方も多々お見えになるんじゃないかなと、そんなことを感じて、そういう会で、会長さんに学校の事情等も聞けんかなと思って。一回も出てきてみえんのですね。これは関係ないですけど、そういう代理出席の方にも報酬を払われておられるかを御答弁いただきたいと思います。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 私ども、当然委嘱をした方が出たときにお支払いをしていますので、代理人に関してはその情報を伝えていただくということで、お支払いはしていません。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） 今ちょっと聞いておらなんだ、していないんですね。

○教育課長（有里弘幸君） していないんです。

○6番（伊藤経雄君） その出席される方も、余りこれもどうかなと思うけど、パートとして嘱託かどうかわかりませんが、やはり北方町の公の施設にお勤めになってみえる方が代理でお見えになっています。これもいかがなものかと、その点だけお伝えして終わります。

○議長（立川良一君） 日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 97ページの幼稚園の通園バスのことですが、運行の委託はあっても、運転する人とか、要するに業務委託料として払われているんだけど、あと保険だとか、それから検査があるでしょう、1年に一遍なのか、何年かに一遍なのか知らないけど、通園バスの。そういうのを含めると一体全体どのくらいの金額になるのかどうかをお尋ねしたいと思います。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） この運行バスにつきましては、私どものほうのバスを利用させていただいて、運転等の代行というんですか、そういう形で行わせていただいています。ちょっとバスにつきましては今詳しい資料がありませんで、車検代とか保険代というのはちょっと私どものほうではお答えができませんが、実際に毎年当然車検も行っていますし、車は安全な状態ということは私はそう思っていますので、運転の代行です。

例えば、昨年私ども、バスのほうの契約をしようと思ったときに、運転される方が70歳以上を超えられるということでしたので、70歳以上ではちょっと運転はまずいですよということで、人をふやしていただいて対応しているということもあります。ですから、当然正常な運転の判断ができる方にやっていただいていると考えています。

○議長（立川良一君） 日比玲子君。

○10番（日比玲子君） 今、答弁いただきましたけど、私としては車検代は後で報告をされるということでありましたけど、幼稚園も保育園もあるわけですよ、北方町の子供たちにとっては。ここは無料で回る、町内のあるところから連れてくる。保育園はそれぞれのところにあるんですけど、やっぱり有料化して、行革で上がっていますけど、無料化していく方向ではないかと思うんですけど、どうですか。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 今、議員がおっしゃられましたとおり、行革のほうで私ども、これは上げさせていただいています。ですから、27年中ぐらい検討させていただいて、どういう形になるか、行革のほうでまた決定をしていきたいと考えております。

○議長（立川良一君） 井野勝巳君。

○9番（井野勝巳君） 先ほどと関連しますが、今、起債残高が77億5,300万ですね。117ページの起債残高、償還金。

先ほどお聞きしたとき、30年ごろが起債のピークと言われていました。けさの新聞で、各自治体の借金のことがちょっと記事になっておったんですけど、結局うちのほうにしても、これからだんだんこういう起債を返していくわけですけど、今の人口の少ない、企業も少ないところについてはやっぱり借金が多かった。原発なんかを抱えているところはほとんど借金がないというような記事がきょう載っていたのでちょっと興味深く見たんですけど、結局どうも今の膨らんだ起債をこれから平均的に返していくと思いますけど、ことしも5億返していくんですが、そのあたりのこれからの推移、財政見通し、これについて完全にというわけじゃなしに、安心して財政運営が保たれていくのかどうか、そのあたりをちょっとお尋ねしたいと思うんですが。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） 今現在、本年度5億8,723万7,000円の予算化をさせてもらって、起債の償還金額を計上させていただいておりますけれども、先ほども申しましたように、平成30年ごろがやはり一番のピークにはなるのではないかなど。このまま行きますと、その時点で現在の5億8,700万が6億3,000万ほどになるのではないかなどという試算をしております。

それから、今後の事業にもよりますけれども、それによつては徐々にまた減って、大体5億後半半りの金額で推移をしていくということで、いずれにいたしましても、この金額が決して安い金額ではありませんので、大変財政上は厳しい負担になってまいりますので、本当に無駄のない支出というか、真に必要なものに予算を上げていくということを考えていかなければならないと、厳しい時代になっていくと。当然、人口減少で、収入についても、歳入についても大幅にふえるという見込みはありませんので、そういうところで歳出で抑えていくということを考えていかなければならないと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（立川良一君） 井野勝巳君。

○9番（井野勝巳君） 今、この間も地方創生の総合戦略等も今検討されていますけど、これはもう政府ももう5年たつのでこういった形の中で、各自治体が元気の出るまちづくりですか、そういったことに取り組みということでやっておりますので、そういったものにも取り組む中で、国からまだ今のうち元気交付金というものをいただけるうちは何とか頭を絞っていただいて、円滑な財政運営ができるようお願いしたいと思います。終わります。

○議長（立川良一君） 戸部哲哉君。

○8番（戸部哲哉君） 今、井野議員のほうの質問にも絡めて、私が一番心配しておりますのは、この予算立ての中で、やっぱり臨時財政対策債をうまく政府の財政難から時限立法といいますか、

一時的な措置としてとられた制度なんですけれども、この臨時財政対策債というのは、申し上げるまでもありませんが、後年度に交付税措置として全額補填をしてくれるという性質のものなんです。この117ページの数字を見ておりますと、やはりこの平成25年度で30億9,000万、26年度で32億、そして27年度では33億8,000万というふうに年々1億6,000万ぐらいふえているわけなんです。この表からもわかりますように、ことし、来年度2億8,000万臨時財政対策債を借りられて、その償還が1億6,700万。これが交付税措置されている金額と捉えてよろしいんですか。まず1つ、それだけちょっと質問したいと思います。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） 今おっしゃられましたように、臨時財政対策債につきましては、後年度において交付税措置がされるということで、国のほうから交付金、地方交付税とは切り離してその部分を借りたいということで借りて、借金で後ほど国のほうから措置しますということで御指導いただいて来ているものでございますので、当然その中に後ほどの交付税措置をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○議長（立川良一君） 戸部哲哉君。

○8番（戸部哲哉君） いえいえ、この数字でいいですかということです。1億6,700万の交付税措置分で、返済額が。

ここに出ている1億6,794万5,000円、27年度中元利償還見込み額、これが交付税措置された金額と考えていいですか。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） こちらのほうに書いてあります数字は元金でございますので、元金と利息についても当然償還をされた数字ということになりますので、よろしく願いいたします。

○議長（立川良一君） 戸部哲哉君。

○8番（戸部哲哉君） 元金ということで、利息の部分を別というのはわかっておりますが、要するにこれは発行借入れ可能額というのが政府のほうで、当町に対してのやつが決められているわけなんです。当然。その中で、交付税分の足らずまいといいますか、要するに本町として足らん分、これを要するに臨時財政対策債で借入れを起さなければならない部分もありますね。

しかし、それも限度が今の発行可能額という部分である中で、要は何が言いたいかといいますと延々とふえていくんですよ、1億何千万。これがやはり当町の公債費に算入されるわけですよ。先ほど井野議員のほうから質問がありました公債費比率、この部分も当然数字的に上昇していくと。結局この借金が減っていかないんですよ。減っていかないということは、当町の借金であることに変わりがないという。先ほどの計算上からしても全部これは含まれて、一番怖いと思うのは、いわゆる交付税の算定の中にこれが含まれるということですね。この臨時財政対策債の借入れ部分がいわゆる当町の収入として上げられて、それは要するに基準財政収入額、その部分に上乗せをされますから、当然その交付税部分としては減りますよね、交付税が。それは合

っていますか、そこをお答えください。

○議長（立川良一君） 林総務課長。

○総務課長（林 賢二君） 言われるとおり、財政収入額の対象となってくるものであります。

○議長（立川良一君） 戸部哲哉君。

○8番（戸部哲哉君） ですから、後年度に、要するに保証されるという意味合いは非常に僕は少ないと思うんですよ。ですから、この部分を何とか、いわゆる借り入れをしなければ交付税が減らされるという部分がどうしてもおかしい制度という、理解ができないところがあるんですが、やはりここに頼っていくと、将来的に国がどこまで保障してくれるかという保証がないわけなんですよ。国の借金と同じように自転車操業的にふえていく部分があって、最終的に今まで町が借り入れている借金ですから、最終的には町の借金として北方町が責任を持って返していかならん。そういう性質が非常に見えてきているといたしますか、総務大臣がこの臨時財政対策債は地方の借金で、いずれは地方が責任を持って返すべきものだという答弁もされているんですね。これはちょっと調べたところのあれなんですけれども。それはもう大分前ですよ、もう十何年も前の話なんですけれども。そういう感覚的な中で、地方にこういう借金をどんどん押しつけてきているので、安易にこの部分をふやしていくというのに非常に危機感を覚えています。その辺のところの中で、できるだけ発行可能額満杯ということなく、できるだけ借り入れをしないようお願いをしていきたいと思っておりますし、今の公債費比率、どんどんこれを含めていくと上がって行ってしまって、先ほど14%ぐらいになるとおっしゃられましたけれども、今でも15%超えれば、やはりこれは黄信号ということでかなりきつい数字になりますので、そこら辺も含めた中で、よろしく歳入のほうの処理をよろしくをお願いをいたしたいと思っております。

○議長（立川良一君） 町長。

○町長（室戸英夫君） 今、戸部議員のおっしゃる心配事は、かねてから、臨財債については、その性格上、そういう危険があるということは私どもも伝え聞いておるわけでございます。

しかし、非常に魔術的なところがありまして、臨財債を抑えて予算編成をいたしますと、次の交付税に恐らく国はこのまちは財政に余裕があるから借金をせんのやという評価の仕方をして、交付税に影響をしてくるわけですね。それは私が議員のときでしたから、十七、八年ごろ、そういうことが一度ありまして、前年度に比べて交付税が減額されたということを目の当たりにしておるわけでございます。したがって、ここがジレンマでございまして、おっしゃるとおり、どんどんと借金をしていきますと、そういう状況になる。これからはできるだけ北方町の単独の起債というものを抑制して、臨財債のほうは、その正体はわかりませんが、利用できる最大限を利用していくという手法をとって、財政運営を図っていくことが大事ではないかというふうに思っておるわけでございます。御心配をいただいて大変申しわけございませんけれども、今、北方町はいろんな事業、庁舎を含めて集中をいたしておりますので、起債というものはふえる傾向にありますが、来年あたりで一段落つくわけでございますから、今後の事業展開が議員が御指摘をされますように慎重にいたしまして、起債発行をできるだけ抑えていくという方向で進めて

いきたいと思いますので、ぜひ議員の皆さんも、そういう視点で私どもと願いを共有していただいて、住民から要求があるから、あれもやれこれもやれとおっしゃらないで、事情を知っておっていただいて、よろしく願いをしたいということを申し上げます。

○議長（立川良一君） 安藤浩孝君。

○5番（安藤浩孝君） それでは、102ページ、委託料13、委託料真ん中あたりの各種イベント委託料950万出ております。きらりの事業だというふうに思っていますが、きらりができましてちょうど10年という節目に来年が当たるんですけど、イベント委託料が来年度は何かビッグな方を呼ばれるというふうに聞いております。何か綾戸智恵さんというふうに聞いていますが、50万円今年度よりかはアップして950万円ということになっておりますが、生涯学習センターの事業、入場料、これが歳入のほうを見ましたら来年度450万ということになっていきますね。それで、平成25年度の委託事業費が900万円で入場料のほう350万円、平成26年、今年度が事業費が900万で入場料が360万、それで来年度が950万で入場料が450万という流れになっております。それで、かかった費用のうち入場料の割合をちょっと計算しましたら、平成25年度が39%、平成26年が入場料の割合というのがかかった費用から40%、それで今度来年度は一気に上がりまして47%という数字になりますね、450万ということになると。

そこで、入場料が今年度から比べると90万円ぐらい来年度上げてあるわけです。そこでお聞きをしたいと思いますが、当然この90万円アップという歳入の見込みというのは、何か裏づけがあって、こうこういうふうにするから上がるんだよというようなものがあれば、お聞かせを願いたいというふうに思います。

それからもう1点は、教育委員会さんの考えとして、事業費のうち入場料が占める割合、どの程度の数値というんですか、金額というんですかが望ましいかなというのがもしあれば、この2点お聞きいたします。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 今回、私ども入場料の収入を450万にしたということですが、それにつきましては10周年ということで、先ほど議員がおっしゃられたように、ちょっと有名な方を呼びたいということで企画をさせていただいています。その中で、チケットの販売の方法を今までとはちょっと変更して、例えば、1階席と2階席の金額を変えようとか、そういうような案を持っております。そこで、1階席については当然少し今までよりは高目の金額を設定させていただいてやっています。

27年度につきましては、一応私ども今4つの事業を計画しているわけですが、その中の全てではありませんが、特に先ほど議員おっしゃられた綾戸智恵と、そして吉田兄弟につきましては1階席と2階席で金額を変えながら対応していこうと思っておりますので、少し入場料収入を上げさせていただいております。

それと、議員おっしゃられたとおり、何%ぐらいが入場料収入と、そして事業費というところなんですけど、私ども、やはり当然受益者負担の考え方から、ある程度の金額というものは入場料

で補っていかなくてはならないということは考えておりますので、やはり40%ほどが妥当という線で今まで来ました。

ただ、今回、中村雅俊のときの件もありまして、私どものチケットの売り方等に問題があったという御指摘をお受けしていますので、その辺今回は1階席、2階席で金額を変えながら対応していくことによってそういう問題も解消できるんじゃないかということで、今年度につきましては47%、議員さんおっしゃられるような数字になりましたが、やはり4割程度の回収というか、事業費に対する4割程度の回収はしていきたいということで、今までの360、350という金額を設定していたものと考えております。

○議長（立川良一君） 安藤浩孝君。

○5番（安藤浩孝君） きらりホールというのは満席になっても、立ち見席を入れても450ですか、座席が430、大変キャパの問題があつて、1人頭の単価が3,000円、4,000円、5,000円という形になってきても、満席になってもなかなか思ったほどの入場料が上がってこないというのが一番のあれだと思っておりますが、それで今回どうもことし、まだ決算見ていませんが、どうも350万は超しただろうというような話もちらほら聞いていますが、果たしてここから100万円アップって可能なんですかね、本当に。果たして北方町で、例えば、今まで4,000円でやっていたものを、この北方町で5,000円の入場料というのはどうですかね。名古屋とかということならわかりますが、この北方町で5,000円というのはなかなか厳しい数字かなと思っておりますが、その辺、キャパも含めてどうですか。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 私ども、一応設定のほうは1階席については5,000円から6,000円を見えていますし、公演によっては額を変えますけれども、見られた方のアンケート等をとりますと、やはりあの施設というものは演者との距離が近いということで、やはりその辺のところの有利性、キャパが小さいんですけども、その辺の有利性があると思います。それもそのアンケートのほうにそういうものが反映されていますので、例えば5,000円という形で設定をさせていただいても、そういう部分で皆さんは見ていただけるんじゃないかと。

特に、中村雅俊のときは名古屋等で公演をすると、やっぱり遠いと、演者の方が。今回こちらのほうに来て、やっぱりあれだけ近いところで見られたというのは皆さん喜んでおられる部分だと思いますので、その辺はキャパが小さいですけど、そういう部分でカバーができると考えております。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） 97ページの幼稚園のさっきの通園バス委託についてですけど、183万円ほど予算化されておりますけど、70歳以上の方がもうやめられて、新しい方が今運転しているわけですか。70歳になられたのは、いつなられたんですか。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 私のほうで聞いておるのは、昨年度中になられるということでしたの

で、昨年度というか、26年度中になられるということでしたので、そこはちょっと。ですから、予算化の段階で契約する前の段階で、70歳以上になるといけませんのでということで相手方に伝えましたら、できないかもわからないということでしたので、25年度の予算を編成する場合にもう少し高目の別のところに契約しようとして高目の金額を組んでいたんです。ですから、そういう状況もあったんですが、1人若い方を加えていただけましたので、そこで契約をさせていただいたということです。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） いや、その方のそういう形でおやめになられて、まるっきり他人さんが運転しているんですか。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 事業としては、一番当初はお父さんと娘さんがやられていた。そのお父さんのほうが70歳を超えられたので、新しい方を入れたということですが、御家族ではないと思っていますが。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） 嫁がれた先やで、今は家族じゃないかもしれませんが、現実にはそういう方が今運転しているんじゃないんですか、嫁がれた娘さんが。

○教育課長（有里弘幸君） そうです。

○6番（伊藤経雄君） そういうことは許されるんですか。

その方も含めての契約なんですか、これは。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 私どもがそこでお願いする場合に、その方を登録していただいて運転が、大型の免許を持ってみえるということで、そういう形でできますよというので確認をしておりますので、何ら問題はないと考えております。

○議長（立川良一君） 伊藤経雄君。

○6番（伊藤経雄君） それをよしとしてもいいですけど、この方は給食センターのほうも今運転してみえたんじゃないですか。

○教育課長（有里弘幸君） そうです。

○6番（伊藤経雄君） これは、そちらが選ばれるんやで、我々がどうというわけじゃないですけど、何かちょっと不公平なんですね、そういう件に関しましても。その点をちょっと御指摘して終わります。

○議長（立川良一君） 有里教育課長。

○教育課長（有里弘幸君） 今、確かに議員おっしゃられるとおり、朝、通園バスのほうの運転をさせていただいて、そしてその終わった後に今度給食が昼に配送になりますので、その時間帯でやっていますし、私どもその方と単独で契約をしているわけではなくて、入札をしてやらせていただいていますので、その辺のところは何ら問題もないと考えております。

○議長（立川良一君） 井野勝巳君。

○9番（井野勝巳君） これは今聞いておって、ちょっと本当に業務に関しては、予算的なものを置いている形の中で、予算の審議なんですね。だから、予算を置く中で、この運転を誰がしてる、これしておるといふ話になってまうと、本当に予算の審議かという話になってしまうので、このあたりはしっかりあなたも答弁しないかんで。人事のことは、そちらのほうで決めておるんだから、委託しておるのは、あなたのところで。そのことについて、うちのほうで今、この予算は、予算を置いておることに対してどうのこうのという審議をしている中なんですから。

〔「休憩しないかんだろう、議長」の声あり〕

○議長（立川良一君） 休憩します。

休憩 午前11時13分

再開 午前11時16分

○議長（立川良一君） じゃあ、再開します。

ほかにありませんか。

鈴木浩之君。

○4番（鈴木浩之君） 1点だけちょっとお聞きします。

75ページ、農業総務費の中の農業振興地域整備促進協議会委員の9名の方の報酬ということで、今までから倍増ということになっていきますけど、10万8,000円。内容について、例えば協議内容がふえたとか、そういったことで理解をすればよろしいのかどうかだけお聞きします。

○議長（立川良一君） 奥村都市環境農政課長。

○都市環境農政課長（奥村英人君） 農業振興地域の整備促進協議会の報酬につきましては、この農業委員会、農振の整備計画とかそういうもの、農振除外とかそういうことをするたびに委員会をやっていただくものでございますが、今回、委員会の回数をふやしまして予算計上しておりますので、それに伴って報酬費がふえておるものであります。1人当たりの報酬費がふえたものではありませんので、1回を2回にしたという会議回数をふやしたということです。

ふやした内容としましては、今後、農振地域の開発とか、そういうものが行われたりとか、農振の中の動きがあるときに、この会議を持って農振の中を整理していかなければなりませんので、会議回数をふやさせていただいております。

○議長（立川良一君） これで質疑を終結します。

ただいま議題となっております議案第6号については、各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありますか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第6号は各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託することに決定いたしました。

日程第8 議案第7号

○議長（立川良一君） 日程第8、議案第7号 平成27年度北方町国民健康保険特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第7号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第7号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第9 議案第8号

○議長（立川良一君） 日程第9、議案第8号 平成27年度北方町後期高齢者医療特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔「終結」の声あり〕

○議長（立川良一君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第8号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第8号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第10 議案第9号

○議長（立川良一君） 日程第10、議案第9号 平成27年度北方町下水道事業特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第9号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第9号は厚生都市常任委員会に付託することに決定しました。

日程第11 議案第10号

○議長（立川良一君） 日程第11、議案第10号 平成27年度北方町上水道事業会計予算を定めるについてを議題とします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第10号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第10号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第12 議案第11号

○議長（立川良一君） 日程第12、議案第11号 北方町地域福祉計画・地域福祉活動計画を定めるについてを議題とします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第11号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第11号は厚生都市常任委員会に付託することに決定しました。

日程第13 議案第12号

○議長（立川良一君） 日程第13、議案第12号 北方町老人福祉計画を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（立川良一君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第12号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（立川良一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第12号は厚生都市常任委員会に付

託することに決定をいたしました。

○議長（立川良一君） 以上で本日の日程は全て終了をいたしました。

第3日は、あす13日午前9時30分から本会議を開くことにいたします。

本日はこれで散会をいたします。御苦労さまでございました。

散会 午前11時25分

会議の経過を記載してその相違のないことを証するためここに署名する。

平成27年3月12日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員

